

閉店発表からの3ヵ月間

「くいだおれ太郎」経済波及効果は約9億円

大学院会計研究科 宮本勝浩教授が推定

このたび、関西大学大学院会計研究科の宮本勝浩教授が、閉店発表から閉店までの3ヵ月間における「くいだおれ太郎」の経済波及効果を推定しました。

宮本教授は、本年4月の閉店発表に伴い4月9日付で過去1年間の「くいだおれ太郎」の経済波及効果についてすでに発表していますが、その後、閉店を惜しむファンが殺到しマスコミ報道では平均で約2倍の売り上げ増加があったとされていることから、このたびあらためて閉店発表からの3ヵ月間の経済波及効果を推定したものです。

宮本教授は報告書の中で、くいだおれが閉店を発表してからの3ヵ月間における経済波及効果は、8億8,286万円にのぼると推定しています。

分析結果については、次ページ以降にて詳しく紹介いたします。

記

テーマ 閉店が決まってからの3ヵ月間の「くいだおれ太郎」の経済波及効果
発表者 関西大学大学院会計研究科 教授 宮本 勝浩
発表日 2008年7月8日
内 容

1. はじめに
2. 閉店が決まってからの「大阪名物くいだおれ」店の3ヵ月の経済波及効果
3. 閉店が決まってからの「くいだおれ太郎」の戎橋筋商店街に与える経済波及効果
4. まとめ

以 上

なお、分析結果からデータなどを引用される場合は、その旨を付記していただきますようよろしくお願いたします。

【この件に関するお問合せ先】
関西大学 広報室広報課 / 鶴丸 北谷
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 TEL:06-6368-0075 FAX:06-6368-1266
<http://www.kansai-u.ac.jp>

【プロフィール】

氏 名 宮本 勝浩

生年月日 昭和20年1月12日（63歳）

本 籍 和歌山県

現 職 関西大学 大学院会計研究科 教授

学 歴 大阪大学 大学院経済学研究科修士課程修了
経済学博士（神戸大学）

職 歴 大阪府立大学経済学部教授、経済学部長、副学長歴任後、
平成18年4月より現職。

この間 アメリカ合衆国インディアナ大学、ハーバード大学、上海同済大学、南京理工大
学、ロシア極東国立商科大学などの客員研究員や客員教授を歴任

専門分野 国際経済学（移行経済論）、理論経済学、関西経済論

著 書 「大阪経済学」共著、経営書院、「移行経済の理論」中央経済社など

公 職

財務省財政制度等審議会臨時委員

大阪府水道部経営・事業評価委員会委員長

大阪府市町村合併推進審議会会長

堺市人事委員会委員長

公益信託泉州地域振興基金運営委員会委員長

財団法人堺都市政策研究所理事長

など

業 績

2003年 「阪神優勝の経済効果」を発表

2004年 「球界再編の経済効果」、「プロ野球のストのマイナス経済効果」、「東北楽天の宮城県
における経済効果」などを発表

2005年 「阪神優勝の経済効果」、「セバ交流戦の経済効果」などを発表

2006年 「清原、中村選手のオリックス入団の経済効果」、「2008年大阪サミット誘致の経済効
果」、「ディープインパクトの経済効果」などを発表

2007年 「世界陸上競技選手権大阪大会の経済効果」、「シャープの堺市への液晶工場進出の経
済効果」を発表

2008年 「東国原英夫宮崎県知事就任以後の宮崎県と東国原知事の経済効果」を発表
「くいだおれ人形の経済波及効果」を発表

「白毛馬ユキちゃんの経済波及効果」を発表